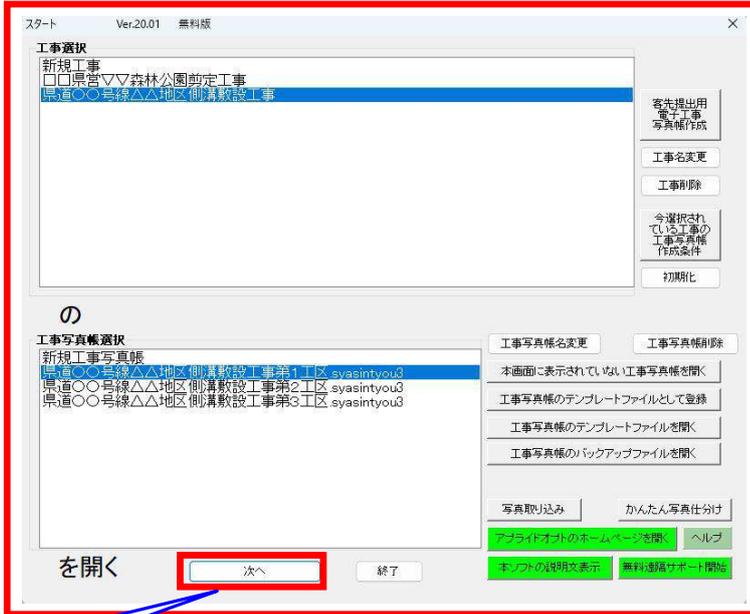


# かんたん工事写真帳 3（無料版）の主要機能説明

2024年8月15日  
アプライドオプト有限会社の長尾治が本ソフトで作成  
TEL:090-9179-6171 Mail:nagao@appliedopt.com



このマークを付けた機能は、「かんたん工事写真帳 3」に追加した機能であり、「かんたん工事写真帳 2」にはありません。

本ソフトを起動すると最初にこの<スタート>画面が表示されます。

この画面には作成済みの工事写真帳名が表示されています。

どれか作成済みの工事写真帳を選択した上で、この【次へ】ボタンをクリックすると、以下に示す<メイン>画面が表示されます。  
この<メイン>画面には以下に示す5つのサブ画面があります。

<複写真帳見出し>サブ画面（但し、このサブ画面は最初は表示されていません）

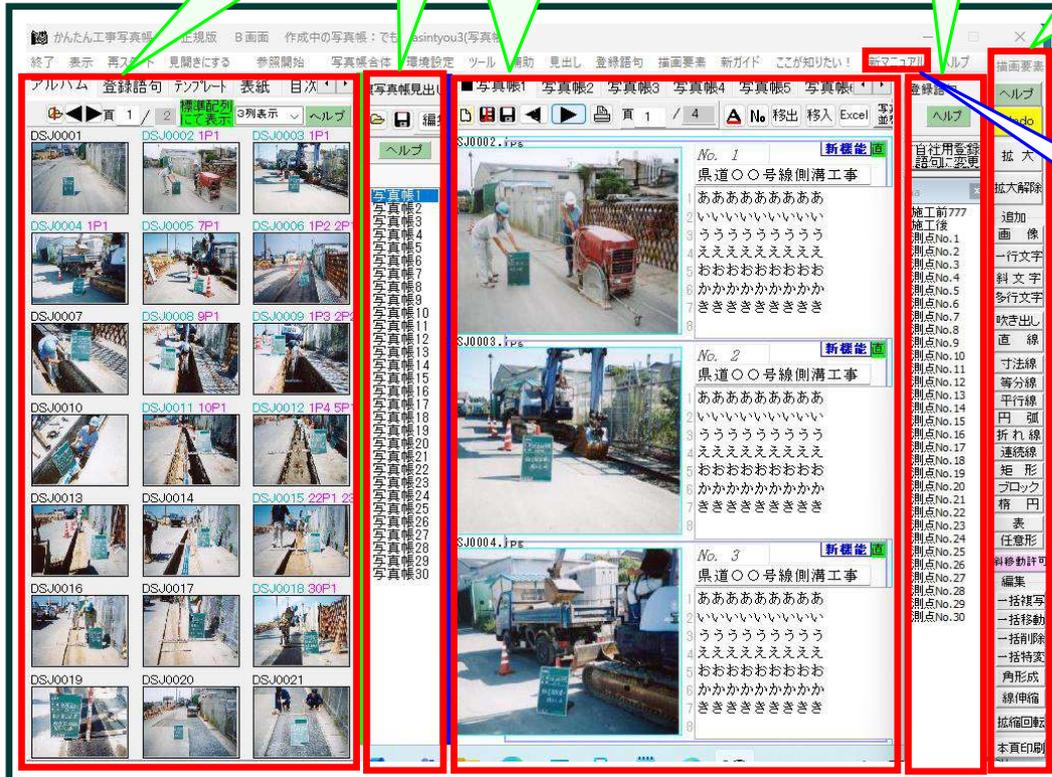


<登録語句>サブ画面

<描画要素>サブ画面（但し、このサブ画面は最初は表示されていません。）

<写真一覧表示>サブ画面

<工事写真帳作成>サブ画面



ここをクリックすれば、本ソフトの詳しい操作マニュアルが表示されます。

次のページ以降で各サブ画面の機能を説明します。

## <写真一覧表示>サブ画面 についての説明



このサブ画面には、選択したフォルダに保存されている工事写真が一覧表示されています。

ドラック&ドロップの操作をすれば、この中のご希望の工事写真を<工事写真帳作成>サブ画面に貼り付けることができます。

なお、Ctrlキーを押した状態で、いずれかの工事写真をクリックするか、右クリックすると、その工事写真全体が拡大表示されます。

また、Shiftキーを押した状態で、いずれかの工事写真をクリックすると、クリックした辺りが更に大きな拡大率で表示されます。

## <複写真帳見出し>サブ画面 についての説明



この本サブ画面は最初は表示されていなく、<メイン>画面上の【見出し】-【複写真帳見出し】を表示させる

のメニューをクリックした時にだけ表示されます。

本ソフトでは1つの工事写真帳の中に複数の写真帳が内蔵されており、このサブ画面で任意の行をクリックすると、<工事写真帳作成>サブ画面は、それに対応した内蔵写真帳を編集する状態に切り替わりします。

この切り替え操作は使用する内蔵写真帳が6つ程度までなら、<工事写真帳作成>サブ画面でも行うことができますので、それ以上の内蔵写真帳を使いたい時だけ、このサブ画面を表示させてください。

なお、写真帳1、写真帳2・・・の名前は、ご希望のもっと分かりやすい名前に変更できます。

## <登録語句>サブ画面 についての説明



入力頻度の高い語句を登録語句として予め登録しておくこと、この<登録語句>サブ画面にそれらが表示されます。

このサブ画面の中の任意の登録語句をクリックしただけで、<工事写真帳作成>サブ画面のコメント入力欄にその登録語句を入力することができます。

なお、この例では1列だけしか登録語句が表示されていませんが、設定を変更することによって、登録語句を複数列表示させることもできます。各列の表示幅も変更することができます。

## <描画要素>サブ画面 についての説明



このサブ画面は最初は表示されていませんが、<メイン>画面の右上の【描画要素】-

【<描画要素>サブ画面を表示させる】のメニューをクリックすると表示されます。

このサブ画面に表示されている

【一行文字】ボタン、【直線】ボタン、【矩形】ボタン、【楕円】ボタンなどをクリックした上、所定の操作をすれば、一行文字・直線・矩形・楕円などの描画要素を<工事写真帳作成>サブ画面に追加することができます。

## <工事写真帳作成>サブ画面についての説明

ここに“写真帳1”, “写真帳2”, “写真帳3”・・・のタブがありますが、各タブをクリックすると内蔵されている別の写真帳を編集する状態に変わります。  
 ですから、別のタブをクリックした上で工事写真を貼り付けてゆくことによって、工事写真を仕分けながら、工事写真帳を作成してゆくことができます。  
 なお、“写真帳1”, “写真帳2”, ・・・のタブ名は希望する名前に変更できます。

これらのボタンをクリックすれば、作成した工事写真帳を保存できます。

これらのボタンをクリックすれば、ページ変更できます。

このボタンをクリックすれば、作成した工事写真帳を印刷することができます。

こころをクリックすればEXCELが起動し、手早くコメントを入力することができる状態になります。

ここをクリックすればドラッグ&ドロップ操作だけで工事写真を並び替えることができる後述する画面が表示されます。

追

本ソフトで新規工事写真帳の作成を開始すると始めに  
 <工事写真帳 様式選択>画面が表示されます。その画面で多様な工事写真帳を選択することができますが、最も典型的な様式は今左側に表示されているような1ページに3つブロックが配置されている様式であり、各ブロックには写真とコメント入力欄が配置されている様式です。



## ブロックについての詳しい説明

前ページで説明したとおり、本ソフトでは、工事写真とその横のコメントを一塊と捉えて、“ブロック”と称してしますが、これには直接入力モードと間接入力モードの2つの状態があり、【直】ボタンや【間】ボタンをクリックすることによって切り替えることができます。

### 直接入力モードの状態での機能



ここをクリックすると、間接入力モードに切替ります。

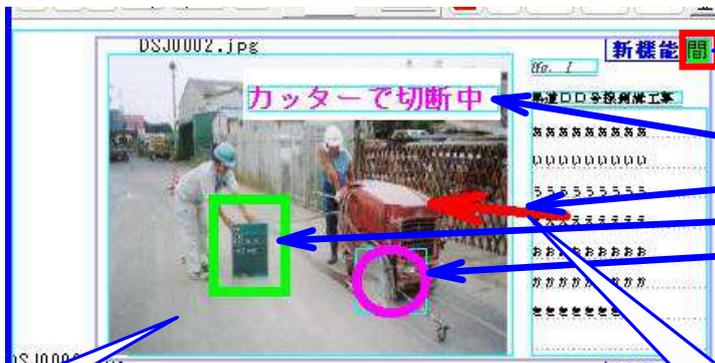
ここをクリックの上、所定の操作をすれば、基準には準拠していませんが、電子黒板を作成し、それを工事写真に追加することができます。

追

これらのコメント入力箇所には、**文字を直接入力することができます。**

- Ctrlキーを押した状態でこの工事写真をクリックすると、工事写真全体が拡大表示されます。
- Shiftキーを押した状態でこの工事写真をクリックすると、クリックした辺りが更に高い拡大率で表示され、その拡大表示された工事写真を見ながら、コメントを入力することができる状態になります。
- ここで右クリックすると、次のページで説明するメニューが表示され、多くの編集作業ができる状態になります。

### 間接入力モードの状態での機能



ここをクリックすると、直接入力モードに切替ります。

このように、一行文字、直線、矩形、楕円などの描画要素を追加することができます。

- 工事写真が表示されている所で右クリックすると、<画像特性設定>画面が表示されます。その画面で工事写真の回転・切り抜き・明暗調整をすることができます。
- 表示されている工事写真をドラッグすると、工事写真の表示位置が変わります。
- 表示されている工事写真の四隅をドラッグすると工事写真のサイズが変わります。

- 追加された直線の所で右クリックすると<直線特性設定>画面が表示されます。その画面で直線の太さ・色を変更できます。始点や終点に矢印を付けることもできます。
- 直線をドラッグすると、直線の表示位置が変わります。
- 直線の始点や終点にマウスを移動した上でドラッグすると、始点や終点の位置が変わります。

他の一行文字、矩形、楕円などの描画要素についても上記と同じようなことができます。

直接入力モードの状態にあるブロックで、その中に貼り付けられている工事写真を右クリックすると、以下に示すメニューが表示されます。このメニューの中の主なものについての説明を以下でします。

- ブロック挿入
- ブロック前後入替え
- ブロック移動
- ブロック削除
- 1ページ複写・挿入
- 1ページ移動
- 1ページ削除
- 複数ページ複写・挿入
- 複数ページ削除
- 複数ページコピー
- 複数ページ貼り付け
- 写真帳合体
- 横4：縦3で写真を切り抜く
- CAD・Excelなどの図表取り込み
- 
- 写真拡大表示 1
- 写真拡大表示 2
- 
- 写真日付変更
- この写真が保存されている場所とファイル名を表示
- この写真の前後に撮影された写真を表示
- 付箋を付ける
- 付箋が付いた次のページへ移動
- 付箋が付いた前のページへ移動
- 付箋が付いたページをリストアップ
- 付箋削除
- 工事写真帳様式一括変更

これらのメニューでブロックの挿入・移動・削除を行うことができます。

これらのメニューでページの挿入・移動・削除を行うことができます。

これらのメニューを使うことによって、指定した複数のページを、他の工事写真帳にコピー・貼り付けすることができます。

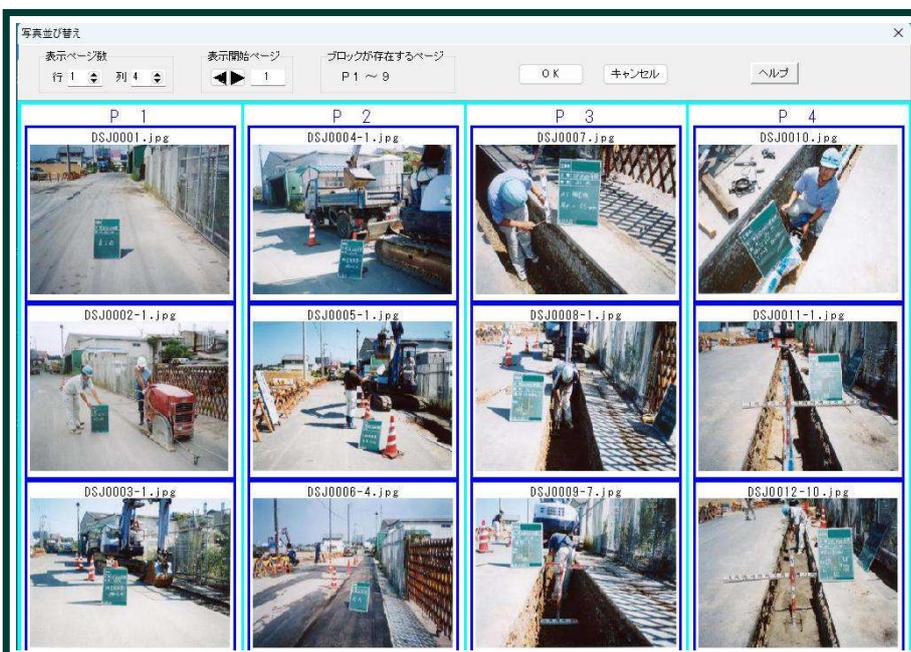
このメニューを使えば、下図に示すようにコメント欄に任意の他のソフトで作成した豆図を取り込むことができます。



まだ編集途中で未完成のブロックには、これらのメニューを使って付箋を付けたり、取り外したりすることができます。

このメニューを使えば、作成した工事写真帳の中のすべてのブロックの様式を一括変更できます。

<メイン>画面右上の【写真並替】ボタンをクリックした時には以下に示す画面が表示されます。



この画面でドラッグ&ドロップ操作をするだけで、工事写真を並び替えることができます。

## その他の「かんたん工事写真帳3」の主な特徴

- 作成した工事写真帳を複数のパソコンで共用することができます。
- 客先には作成した工事写真帳を紙に印刷して提出するのが通常ですが、CDに入れて提出することもできます。
- 作成した工事写真帳は移植すれば、他のパソコンでもそれを開くこともできます。
- 万が一に備えて工事写真帳のバックアップファイルが自動的に作成されています。
- 各種のヘルプ機能が付いていますので分かりやすいソフトです。

以上